



F-REIの最近の動き (令和8年3月)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き（令和7年4月～）」から令和8年3月分を浪江町役場で抜粋しております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

令和8年3月5日（木） 第37回国際セミナーで山崎理事長が講演

3月5日、公益財団法人国際研修交流協会の主催で「第37回国際セミナー」が東京都内で開催され、山崎理事長が講演を行いました。

本セミナーでは、カーボンニュートラル実現に向けた次世代エネルギー、特に水素エネルギーや核融合といった先進的技術の最前線についての情報提供があったほか、福島復興の歩みと今後の展望について議論が深められました。

山崎理事長からは、創造的復興を目指すF-REIの取組について講演を行い、参加者にとって福島浜通りの復興の進むべき方向について考える機会となった様子でした。



令和8年3月10日（火） 兵庫県立大学と連携協力に関する基本合意書を締結

3月10日、兵庫県公立大学法人兵庫県立大学とF-REIは、連携協力に関する基本合意書を締結しました。

今後、この基本合意書に沿って、互恵的な連携協力を進めていきます。



令和8年3月17日（火）

令和7年度 第1回 F-REI産学官ネットワーク・セミナーを開催

3月17日、「令和7年度 第1回 F-REI産学官ネットワーク・セミナー」を福島市で開催しました。

本セミナーでは、農林水産業分野を中心に、ロボットやエネルギー分野などとも関連する研究について、F-REIの研究や県内外の企業の先進的な取組を交えながら紹介しました。農業・林業・水産業・スマート化をテーマに、研究と現場の取組への理解を深めるとともに、企業等のネットワーク構築にもつながる内容となりました。

F-REIからは、藤井一至ユニットリーダー、田野井慶太郎ユニットサブリーダー、佐藤陽一ユニットリーダー、大石潔ユニットサブリーダーの順で4名が登壇し、講演を行いました。

講演後には活発な質疑応答が行われたほか、セミナー終了後には研究者と参加者による交流会も開催され、参加者同士の交流が深まる機会となりました。



令和8年3月17日（火） 放射性物質の分析人材育成（現地訪問型研修）を実施

3月17日（火）に、福島浜通り地域に立地する廃炉関連の分析施設での現地訪問型研修を実施しました。

本研修は、放射性物質の分析業務に従事する人材の裾野を広げることを目的に実施したもので、当日は19名の方にご参加いただき、東京電力廃炉資料館、東京電力福島第一原子力発電所、JAEA大熊分析・研究センターを訪問し、廃炉作業の進捗状況や放射性物質の分析業務について学びました。



令和8年3月19日（木） 「Idea for Future Award 2025ふくしま with F-REI」の表彰式を開催

F-REIは福島県と協力し、中学生を対象としたアイデアコンテスト「Idea for Future Award 2025 ふくしまwith F-REI」を実施しました。

県内の中学生から、F-REIの研究開発テーマを福島未来につなげるためのさまざまなアイデアが寄せられました。3月19日（木）にグランプリ、特別賞を受賞された生徒さんへの表彰式が執り行われました。



令和8年3月19日（木） 福島県廃炉・災害対応ロボット研究会で 大西ユニットリーダーが講演

3月19日、福島県環境創造センター交流棟（コミュタン福島）にて、「遠隔操作研究ユニット」の大西公平ユニットリーダーが講演を行いました。講演では、リアルハプティクス技術を紹介したほか、装置の実演や操作体験も実施しました。参加者の皆さまに実際に装置に触れていただきながら、リアルハプティクス技術への理解を深めていただきました。

後半には、科学コミュニケーターの本田隆行さんの進行のもと座談会を開催しました。参加者から多くの質問が寄せられたほか、技術の応用アイデアについても活発な意見交換が行われました。



令和8年3月20日（金） 出張版サイエンスラボを開催

3月20日、福島工業高等専門学校にて開催された「サイエンスフェア」への出展ブースにて、出張版のサイエンスラボを開催しました。今回のサイエンスラボのテーマは「見える！？消える！？偏光マジックボックスを作ろう！」。光の性質の一つである「偏光」の特性を生かした"見えるけど存在しない黒い壁"を作る工作や実験を行いました。

本イベントには、200名の小学生とその保護者が参加し、F-REIブースには計82名の児童と保護者にご参加いただきました。参加した児童は、"黒い壁"をビー玉がすり抜ける様子を観察し、「なんで？」、「すごい！」など様々な反応を示しながら、光の性質について楽しく学んでいました。



令和8年3月26日（水） 浪江・富岡ロータリークラブ合同例会に参加（エフとも）

3月26日、いわき市のワンダーファームにて開催された「浪江・富岡ロータリークラブ合同例会」に、エフともの活動としてF-REIも参加しました。

今回は、年に一度の「浪江ロータリークラブ」と「富岡ロータリークラブ」の合同例会として開催され、双葉郡でご活躍されている様々な企業の代表者が参加していました。

当日は、山田総務部長が約20分の卓話を行い、「福島国際研究教育機構の創造的復興への挑戦～3年間のあゆみと浜通り地域の未来づくり～」をテーマに、F-REIの研究、産業化、人材育成、広域連携の取組について説明しました。特に、浜通りが「常磐カリフォルニア」と呼ばれる日を目指すという、F-REIの山崎理事長のビジョンは参加者にとって新鮮だったようで、会場は大いに盛り上がりました。



※ロータリークラブとは、1905年にアメリカで設立された地域社会への貢献と国際的な平和構築を目指す団体で、世界中に120万人以上の会員を有しています。



F-REI

福島国際研究教育機構